かざし

48号
令和７年８月１日
編集・発行　新潟県立大学同窓会かざし会
http://www.kazashikai.net
印　刷　所　㈱ DI Palette

はばたけ海老ヶ瀬から ～同窓生はいま～

信楽園病院正面玄関にて

海老ヶ瀬から羽ばたいていった同窓生は、いまどんなところで活躍し、また、どんな学生生活を過ごしていたのでしょうか。県内の病院で働く同窓生をご紹介します。

熊倉　ひとみ さん（信楽園病院）

2010年　県立新潟女子短期大学専攻科食物栄養専攻を卒業。給食委託会社等で勤務。
2014年　信楽園病院栄養科に入職。
2023年　病院勤務を続けながら、新潟県立大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻に入学。
2025年　大学院修了後は摂食嚥下サポートチーム等多職種医療チームに管理栄養士として参加。

今の職業に興味を持ったきっかけはなんですか

県立新潟女子短期大学（以下、県短）に入学するまで、私は栄養士・管理栄養士という職業に特に興味はありませんでした。現在の職業に関心を持つようになったきっかけは、県短に入学し、栄養学を学び始めたことにあります。

私にとって栄養士といえば、“学校給食のおばちゃん”というイメージが強く、子どもの頃の学校給食には、「嫌いな食べ物を残して叱られた」「全部食べ終わるまで遊びに行けなかった」といったネガティブな思い出も多かったように思います。そのため、小・中学生の頃は“食”そのものに対する興味・関心も薄かったように思います。高校時代には、ティーン向け雑誌に登場するモデルたちに憧れ、「今より痩せたい」という気持ちから、ダイエットをしたこともありました。大学受験では、社会科教員を目指して他県の公立大学を第一志望にしていましたが、力及ばず不合格。そのような中、縁あって県短に入学することになりました。

当時、食や栄養に無頓着だった私にとって、県短での学びはまさに目から鱗の連続でした。食べることは生きることそのものであり、日々口にする食物が咀嚼、消化、吸収、代謝といった複雑な過程を経て、自らの身体をつくっているという当たり前のことを、科学的根拠に基づいた学問として学ぶうちに、栄養学の面白さに気づきました。また、調理科学や調理実習を通して、料理ができるまでの科学的な面白さや、料理を作る楽しさ、自分以外の誰かに食べてもらう喜び、そして食文化の尊さを学びました。特に、健康の保持・増進、疾病の予防や治療の一環として、食と栄養がいかに重要な役割を果たしているかを、病院での臨地実習で実感し、「いつか病院で働く管理栄養士になりたい」と強く思うようになりました。

仕事の内容や、やりがいを感じていることをおしえてください

当院は、「病める人の権利と心情を重んじ、信頼される医療を行う」ことを基本理念とし、地域医療、保健、福祉の向上に貢献する地域の中核病院です。急性期治療だけでなく、地域完結型医療を目指し、地域包括ケアシステムの推進や在宅医療、訪問看護にも積極的に取り組んでいます。

私は現在、脳神経内科・脳外科病棟を中心に、栄養管理業務を担当しています。脳卒中や脳腫瘍、神経変性疾患等の脳神経疾患では、身体の麻痺や運動障害だけでなく、視野障害、思考や感情、記憶、覚醒状態等にもさまざまな影響が及びます。特に、口から食べ物を摂る機能（経口摂取）に重大な障害が生じることもあり、摂食嚥下障害は入院中の低栄養リスク

▶ 次ページに続く

令和７年度（2025年度）新潟県立大学同窓会かざし会総会のご案内

1　**日時**　令和７年10月５日（日）午前10時より
2　**会場**　新潟県立大学コモンズ３号館２階5205講義室
3　**受付**　９時30時～
4　**総会**　10時～
5　**ご講演**　人間生活学部健康栄養学科教授　村山伸子様
「社会経済的環境と子どもの食生活・栄養」
6　**学内見学案内**　希望者　12時～
7　**会費**　無料
8　**申込み**　同封のはがきで　８月31日必着
9　**その他**
・懇親会は行いません。
・記念にお土産をお持ち帰りいただきます。

と密接に関係しています。

経口摂取が難しいと評価された場合には、点滴や経管栄養といった非経口的な栄養ルートが選択されます。管理栄養士は、食事だけでなく、これらの非経口的栄養法についても実践的な知識を持ち、臨床現場で活かすことが求められます。また、経口摂取が可能な場合でも、食物のかみやすさ、口の中でまとめやすい食形態、飲み込みやすさ、液体のとろみ加減等、個々の状態に応じた食事形態の調整が不可欠です。

さらに、入院当初は経口摂取が困難だった患者さんが、治療の経過とともに再び経口摂取が可能となるケースも少なくありません。そうした場合には、全身状態や合併症のリスク、機能回復の進度を慎重に見極めながら、医師や看護師、リハビリスタッフと連携し、栄養と食事の専門家としての役割を果たす必要があります。

なかには、長期にわたり摂食嚥下障害が続く患者さんもおり、退院後の生活を見据えた包括的な支援が求められます。患者さんの「また口から食べたい」という想いに寄り添い続けることは、管理栄養士にとって大切な使命のひとつです。

「食べることが唯一のたのーしみなんさ。また口から食べられるようになるろっか…」。患者さんやご家族から、幾度となくこうした声を聴いてきました。食べることは単なる栄養摂取ではなく、楽しみであり、生きがいであり、時には、食べられないことが大きな苦しみにもなります。管理栄養士として、患者さんやご家族の「また口から食べたい」という願いに応える支援ができることに、私は大きなやりがいを感じています。

脳いきいき教室「認知症予防と栄養」についての講演

大学での学びが今の仕事に活かされていると感じることはありますか

県短での病院臨地実習では、現場の管理栄養士が治療食（糖尿病食や透析食等）の工夫や食材管理、調理師との連携、さらには外来・入院患者さんへの栄養指導まで幅広く対応している姿を目の当たりにしました。特に、急な指導依頼にも冷静に対応し、患者さん一人ひとりの生活背景に寄り添った提案を行う姿に感銘を受け、病院管理栄養士への憧れを抱くようになりました。臨地実習であったこの病院が、現在私が勤務している職場となったのは、不思議な縁だと感じています。

県短卒業から約15年を経て、私は社会人大学院生として再び本学の門をくぐることとなりました。大学院では、科学的根拠に基づく栄養学の知識だけでなく、臨床研究の基礎となる論理的思考力、データ分析力、そして発信力やプレゼンテーション技術も身につけました。これらのスキルは、臨床現場で複雑な背景を持つ患者さんの栄養管理にあたる際や、多職種との連携を円滑に進めるうえで、非常に大きな力となっています。

私の研究テーマである「急性期高齢脳卒中患者の栄養状態と経口摂取確立との関連」では、様々な栄養スクリーニングツールを比較し、対象に最も適したツールの選定を試みました。また、退院時に経口摂取が可能かどうかを予測できるツールの検討も行い、さらに管理栄養士の介入が摂取栄養量等に与える影響を明らかにすることができました。研究途中ですが、早期介入が退院時の体重減少率や低栄養リスクの低減に寄与する可能性も示唆され、臨床への応用が期待される成果を得ることができました。

こうした大学院での学びや研究活動は、日々の臨床業務に直結しています。社会人として現場に身を置きながら、現場で生じた疑問や課題を研究テーマとして掘り下げられたことは、非常に意義深く、今後の実践にも大きな指針となっています。

今後の目標をおしえてください

第27回日本病態栄養学会ポスター発表

社会人大学院生として修士課程を修了し、今後は、大学院での学びで培った力を、これからの仕事に活かしていきたいと考えています。大学院では、健康栄養学に関する専門的知識・スキルの習得だけでなく、プレゼンテーション技術や発信力、そして臨床研究を行うために必要な基礎的な力を磨いてきました。これらは、日常業務だけでなく、臨床現場での実践や成果を対外的に発信していくうえで、大きな武器になると感じています。今後も臨床研究に取り組み、実臨床から生まれた疑問や実践に基づくエビデンスを構築していきたいと考えています。特に、学会発表を毎年継続して行い、積極的に外部へ情報発信を行うことを目標のひとつにしています。そして、いずれは英語論文にも挑戦し、自らの研究成果を発表したいと考えています。

また、自身の学びや経験を後輩へとつなげていくことも、今後の大切な使命だと感じています。後輩管理栄養士の育成に積極的に関わり、より質の高い臨床栄養の実践ができる環境を整えていきたいと考えています。

特に私が注力したいと考えているのは、脳神経疾患領域における管理栄養士の役割の明確化です。栄養管理が適切に介入されることで、患者さんの退院時の状態や予後、さらにはQOLの向上に寄与できることを、臨床研究を通じて明らかにしていきたいと考えています。

「管理栄養士は病棟業務において、必要不可欠な存在である」患者さんの治療やリハビリ、退院支援において、管理栄養士が果たすべき役割はますます重要になっており、私自身、その期待に応えられる存在でありたいと強く思っています。今後も、研究と実践を両立させながら、一歩一歩着実に成長を重ねていきたいと考えています。

かざし会の今

新潟県立大学同窓会かざし会
会長　白井　智佳子

5月27日に令和7年度新潟県立大学後援会総会が行われ、県立大・地域の企業・同窓会からの参加者で様々な情報交換がなされました。県立大の入学状況・就職状況のお話や、国際経済学部佐々木健志先生から「データサイエンスの可能性」についての講話をお聴きすることが出来ました。企業の方からは、大学・大学院で学んだ同窓生が現場で活躍されている話を耳にし、自分事のように嬉しく感じました。

また6月1日には、各部・各科の同窓会役員が集まり、かざし会定期幹事会を行いました。昨年から課題として取り組んでいましたが、国際地域学科同窓会「UNP RICE」と県立新潟女子短期大学英文学科同窓会「シュリンプクラブ」が一緒になり今年度から「UNP RICE」として活動を充実させていくことになりました。そして、国際経済学部同窓会も今年度から正式に「ラーレの会」として活動を開始しました。このように、各部・各科同窓会が現状を踏まえて活動を継続し繋げてくださっていることに感謝いたします。

かざし会執行部も、各部・各科同窓会から部員を出していただいてから3年目となりました。執行部としての役割分担もほぼ明確になり、かざし会としても大変活動しやすくなりました。

今年度10月県立大コモンズ館で行われる総会では、健康栄養学科教授村山伸子様より「子どもの食生活・栄養」に関する興味深い話をお聴きする計画です。多くの方の参加をお待ちしています。

さて、ここ十数年の間に県立大は組織や校舎が新しくなり進化を遂げる中、なくなったものもあります。その一つに令和6年度で閉園した新潟県立幼稚園があります。この幼稚園は、県立新潟女子短期大学付属幼稚園として昭和46年設置されました。私にとっても在学中、観察実習・部分実習で大変お世話になった思い出深い幼稚園です。また、研究・研修の機会を県内外の幼児教育関係者に提供し、一緒に学びを深め、新潟県の幼児教育を牽引してきた園と言っても過言ではありません。一人ひとりの子どもの育つ力を信じ、子どもの主体性を核にした保育を実践・研究してきた幼稚園がなくなったことは、本当に残念でなりません。平成21年に短大から大学に改組され、新潟県管轄の幼稚園になった後も、県立大とのつながりは大きく、最後まで尽力いただけましたこと、心よりお礼申し上げます。

多くの同窓生の心に付属（県立）幼稚園での体験が記憶として残り続けることを願っています。

国際的知の拠点をめざして

新潟県立大学学長
若杉　隆平

グローバル社会で活躍する人材の育成は大学にかねてから期待されてきたところですが、日本社会が国際化する上でも大学の果たすべき役割が期待されています。国際性の涵養を教育理念に掲げる本学では、そうした期待に応えるために率先して取り組んできましたが、今年度からは国際的な教育研究の充実に向けてさらなるチャレンジをしています。海外研修・交換留学・海外派遣留学のほか、できるだけ多くの学生が海外で学ぶ経験を積むことができるように多様な形態での海外留学を支援することや留学や短期の滞在を通して海外から多くの学生が本学で学び、本学学生との交流を深める国際交流プログラムの規模をこれまで以上に拡充すること、さらには、多くの留学生が本学で学べるための日本語教育を充実することや英語はもちろん、本学が優位性を持つ露中韓言語による専門教育にも取り組み始めています。

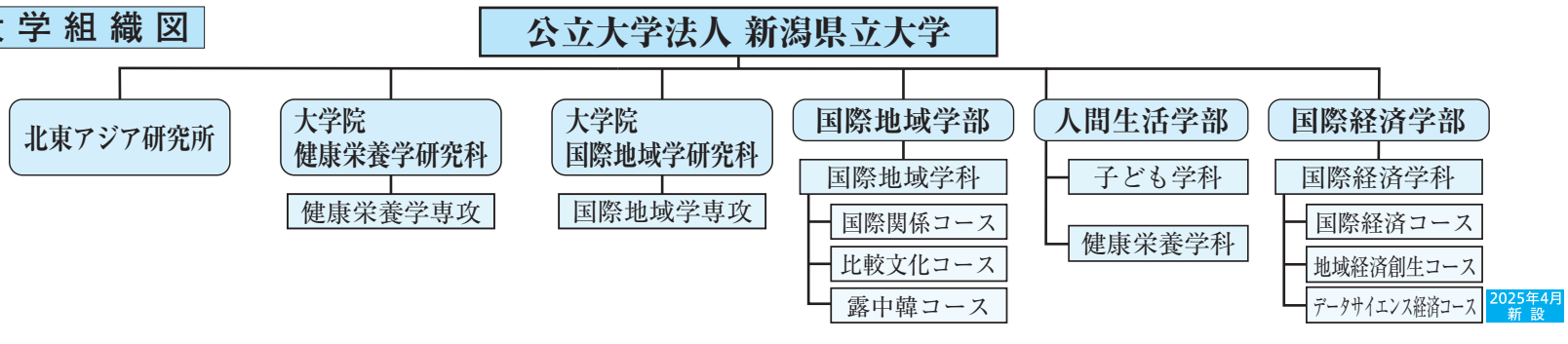
また、学生自らがグローバル人材に成長することを目標として、多文化と共生する経験を積み、外国語によるコミュニケーション力を高めるとともに、社会の課題に取り組み、課題解決に主体的に参画することを自己認証する「新潟県立大学グローバル・イニシアティブ」制度を発足しました。認証を得た学生はデジタルバッジを取得することになります。

また、学生の国際交流だけでなく、国際的な学術交流も積極的に進めています。新設された大学院や研究所では、数多くの大学や研究機関との間で学術交流協定を締結するとともに、共同研究・シンポジウム等を活発に行っています。

国際交流をさらに本格化するために、本年はモンゴル国立大学キャンパス内に本学の海外オフィスを設置することになりました。本学にとって初の海外教育研究拠点となります。

学内では、大学が本格的に国際化するには、教育プログラムを海外の協定校と共同で実施するくらいの取り組みが必要ではないかとの考え方が共有され始めています。海外大学との共同学位プログラムの実施も視野に入れて国際交流を進めたいと考えています。

大学組織図



令和６年度かざし奨励賞受賞者

表彰式の様子

かざし会では、在学中の学生の支援のためにかざし奨励賞を平成24年度より創設しました。学生の学業以外の様々な活動や取組（国際交流、地域貢献、スポーツ、ボランティア活動、文化活動等）について評価し奨励賞と副賞５万円を授与しています。令和６年度は13回目となり、受賞が就職活動での評価につながり学生たちの応募も増えました。審査の結果６件の受賞が決まり、卒業式・修了式で表彰されました。

受賞者・団体名	取組概要
そらいろ子ども食堂	子ども食堂の運営による地域の子育て支援活動。毎月第１土曜日の食事提供、第３日曜日には食材配布の活動を行っている。大学で学んでいる保育や食育の知識を活かして季節やイベントに応じた活動内容を工夫している。
こどもたちのひみつきち ～くりのき食堂～	毎月１回、子ども食堂を開催し、お弁当の配布とレクリエーションを行っている。子どもから大人や高齢者までが共に楽しめるように工夫を重ねている。開催を通じて、子どもと地域の人々が交流できる場所を作り、家族や地域住民のつながりが深まることを目標にしている。
PEANUT	新潟市の母子生活支援施設を月２回訪問して、小学生の学習支援と乳幼児の保育ボランティアを継続して行った。同時に母親ともコミュニケーションを取って親子の心の安定に役立つような働きかけをした。夏期休業中は訪問回数を増やした。また、児童相談所の学習支援ボランティアも始めた。
RUENG（ルーン）	東南アジアを中心とするアジア諸国の生活の質向上を目指したボランティア活動。カンボジアやネパールへのスタディツアーからの帰国後、現地の材料でアクセサリー作りと販売をしたり、ネパール洪水復興支援のクラウドファンディングを実施したりと活動を広げ継続している。
西野 沙和子	国際ボランティアグループRUENGに参加しながらJICAや新潟国際ボランティアセンターと交流、活動参加、活動宣伝等積極的に活動した。ベトナムの学生への奨学金、ネパール洪水復興支援のクラウドファンディングで資金を集めた。
NicolvE（ニコルブ）	「地域」「国際」「環境」を軸にして留学生が日本文化の体験ができるような交流会を行っている。地域に出かけての清掃活動を継続して行い、他大学や地域とのつながりも生まれている。

かざし奨励賞受賞者の活動の様子を一部紹介します

RUENG（ルーン）とNicolvE（ニコルブ）は共にボランティアサークルで、そこに所属し広報活動等独自に活動を広げている西野沙和子さんも今回受賞しました。コロナ禍で中断していたカンボジアやネパールへのスタディツアーや不要文房具を回収して現地の子どもたちに贈る活動、現地での出前授業等、新潟とベトナム、ネパール、カンボジアとの架け橋となることをめざした活動が評価され授与されました。

カンボジアでの出前授業

カンボジアで文房具寄付

蓮花祭模擬店出店

同窓会組織図

◎全学同窓会
新潟県立大学同窓会
かざし会

◎各科同窓会

- 県立新潟女子短期大学　家政科食物専攻・生活科学科食物栄養専攻（含専攻科）
- 県立大学　人間生活学部健康栄養学科
  → 同窓会「**さんしょの会**」
- 県立新潟女子短期大学　幼児教育科・幼児教育学科
- 県立新潟女子短期大学　生活科学科生活福祉専攻
- 県立大学　人間生活学部子ども学科
  → 同窓会「**まなざしの会**」
- 県立新潟女子短期大学　英文科・英文学科
- 県立大学　国際地域学部国際地域学科
  → 同窓会「UNP RICE」
- 県立大学　国際経済学部同窓会「**ラーレの会**」　※令和７年度活動開始
- 県立新潟女子短期大学　家政科被服専攻・生活科学科生活科学専攻同窓会「あかね会」（平成29年度で休会）
- 県立新潟女子短期大学　国際教養学科同窓会（平成29年度で休会）

学生自治会　共に動き、共に創る大学生活

文責：学生自治会　松島　玲乃

歓迎会アカペラサークルミニライブ

こんにちは、学生自治会です。

３月に国際経済学部から初めての卒業生を送り出し、今年の４月で新潟県立大学は開学から17年目を迎えました。今年度は新一年生が403人と例年より多く入学し、学内は活気に満ち溢れています。

私たち学生自治会は、学生の生活をより良いものにするために行事の企画・運営やサークル活動の支援などを行っています。４月には、新入生が同級生や上級生と交流を深められるよう新入生歓迎会を企画しました。サークル紹介のほか、学生食堂「ぱれっと」ではミニライブも開催し、新入生だけでなく在学生も楽しめる会となりました。参加サークルからの意見も取り入れ、新たな試みに挑戦したことで、より良い会を開催することができたと感じております。

新学期が始まり、新しい生活に慣れてきた学生たちが、勉強やサークル活動に取り組む様子を見ると、学生自治会として活動していることにやりがいを感じます。

ビンゴ大会

10月には、新潟県立大学で最も大きな行事である「連花祭」（大学祭）が開催されます。昨年度は、新型コロナウイルスによる活動制限が解除されてから２回目の対面開催となりました。学生たちによる工夫を凝らした模擬店や展示、大盛り上がりのステージパフォーマンスなどにより、当日の学内は大いに賑わいました。また、学生自治会主催のビンゴ大会には、学生だけでなく地域の皆様にもご参加いただき、地域との交流をより深めることができました。「UNP-Days!」という企画では、高校生が本学の学生に相談できる機会を設け、県内外から多くの高校生を迎え、こちらも大盛況となりました。そして、目玉企画であるゲストイベントでは、明るいキャラクターと多才な特技で人気のみやぞんさんをお招きしました。チケットは即完売となるほどの盛況で、「連花祭」を一層盛り上げてくださいました。昨年度から、これまで隔年開催だったゲストイベントが毎年開催となり、より多くの方々に「連花祭」を楽しみにしていただけるようになったのではないかと思います。今後も学生自治会の企画する全てのイベントを皆様に楽しんでいただけるよう努めてまいりますので、是非ご期待ください。

なお、今年度の「連花祭」は、10月25日（土）26日（日）に開催します。ご来場お待ちしております。

学生自治会の活動は、日々私たちを支えてくださっている多くの方々のご協力によって成り立っています。学生の皆さんはもちろん、大学職員の皆様、卒業生の皆様、保護者会の皆様、そして地域の皆様のお力添えに心より感謝申し上げます。私たちは、こうした皆様の温かい支えを常に心に留めながら、これからも活動に取り組んでまいります。そして、応援してくださっている全ての方々にも楽しんでいただけるような行事を企画し、学生一人ひとりが充実した学生生活を送れるよう努めてまいります。

今後とも、学生自治会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

軽音サークルライブ

ステージイベントDJサークル

みやぞんさんをお招きしたゲストイベント

令和６年度　同窓会総会の様子

日時　令和６年10月６日（日）10時より
会場　新潟県立大学コモンズ３号館

総　会

- 白井会長挨拶・若杉隆平学長ご挨拶
- 議事　・令和５年度事業報告
  ・令和５年度決算報告、監査報告
  ・令和６年度かざし会執行部紹介
  ・令和６年度事業案
  ・令和６年度予算案
  ・英文科シュリンプクラブと国際地域学科UNP RICE統合について

すべて議案は承認されました

かざし会執行部員紹介

参会者の様子

白井会長挨拶

若杉学長挨拶

学生による活動発表

吹奏楽サークルの演奏会

学内見学（希望者）

コモンズ３号館と図書館を案内していただきました。

フレッシュな仲間が加わりました

～同窓会「ラーレの会」～

本紙４ページ「同窓会組織図」にあるとおり、今年度から、国際経済学部同窓会「ラーレの会」が活動を開始しました。定期幹事会には、ラーレの会からも役員が参加。かざし会の活動に、新しい風を吹き込んでほしいと願っています。

執行部会

年に７回ほど、役員15名が、かざしルームで事業の打ち合わせや話合いを行っています。

時期によっては、大学の学生に配布する文書や定期幹事会・総会の準備もここで行います。声を掛け合いながら、てきぱきと作業を進めます。

定期幹事会

６月１日（日）クロスパルにいがたで定期幹事会を開催しました。

ここでは、執行部員と各科同窓会の役員等が一堂に会し、令和６年度の事業・決算報告および令和７年度の事業・予算案について審議しました。これが10月のかざし総会につながります。

会員からのメッセージ

多くの方々からメッセージを頂きました。一部ですがご紹介いたします。

会報をとても感慨深く、拝読いたしました。福祉の現場で活躍されている後輩にエールを送ります。卒業後、他の大学に社会人入学しましたが、県短時に得られた単位と経験を生かすことができました。今は引退しておりますが、私も福祉の現場で長年従事してきました。皆様のご活躍をお祈りいたします。　英文科　Y.Kさん

「はばたけ海老ケ瀬から」で同学年の活躍を見ると励みになります。これからも様々な卒業生の記事を楽しみにしております。
国際地域学科　M.Sさん

７月のサンデー毎日の各大学の就職率のランク付が全国で１位になって居りまして、後輩の皆様方や先生方のご努力の賜物と古～い卒業生としましては大変誇らしく思いました。ご発展を祈ります。
食物科　M.Iさん

物価が上がり、郵便料金も値上がりするので、会報を希望しない人には送らないという形があっても良いのではないかと思います。住所が遠方で総会には出席できませんので。　英文科　H.Mさん

県立大学として、特色を打ち出し、産学協同の地域の公立大学として存在感のある大学ですね。大学院も設置され、55年前の県短時代では考えられなかった展開です。　英文科　T.Wさん

こんにちは!! 役員の皆様ありがとうございます。被服、食物40名ずつの２クラスの女子短大としてスタートした、その１回生です。昔かざし会長をやりました。４年制共学となり、科もたくさんに増えましたね。こうして頂く同窓会誌を読ませて頂き、若人の活躍を知る時、しっかりと考えられているその様子にいつも感心、感動しています。IT化の大きな波にアップアップしながらの近況です。
食物科　N.Oさん

会報を送って頂き、ありがとうございました。新潟県立大学が発展していく様子が横浜に居てもよくわかりました。
幼教科　Y.Kさん

幼教11回生、同窓会を今年５月に開催しました。かざしの会からの補助は本当に良いですね。　幼教科　M.Mさん

役員の皆様、ご苦労様です。
「にいがた和牛を広め隊」、聞いたことはありましたが、県立大学健康栄養学科の学生さんの活動だったんですね。500本の焼肉のタレが完売したとのこと!! 暑さの中、この記事を読み、元気をいただきました。　食物科　K.Yさん

SDGsとSNSの発達普及で手紙の情報が消えつつあります。追加料金支払ってでも、私は紙の会報をいただきたいです。
被服科　A.Mさん

会報を読んでくださり、ありがとうございます。皆様からの感想が励みになります。執行部会、定期幹事会等で話題にしながら、皆様から楽しみにしていただける会報づくりに努めます。

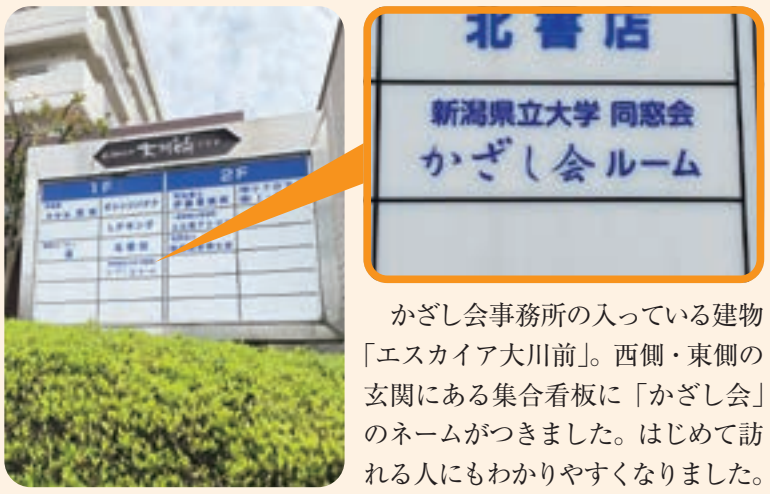
県立幼稚園（旧付属幼稚園）閉園のお知らせ

園舎正面

園庭にある閉園記念碑

1971年（昭和46年）実習園として設立された幼稚園が、令和７年３月をもって閉園となりました。54年間、実習だけでなく保育者となってからも研修でお世話になりました。幼稚園の園舎、そして職員の皆さま、ありがとうございました。

テナント看板が付きました



かざし会事務所の入っている建物「エスカイア大川前」。西側・東側の玄関にある集合看板に「かざし会」のネームがつきました。はじめて訪れる人にもわかりやすくなりました。

かざし会の由来

「かざし」とは、挿頭す―髪挿すの意味で、髪や冠に花や枝を挿すことを言い、後世の花かんざしの源流となります。

『いにしえの　大宮人はいとまあれや
　　桜かざして　ここにつどえる』

と万葉集にも詠われています。また、「理想を掲げる」という意味もあります。

昭和40年、県立新潟女子短期大学１回生が卒業記念に桜の苗を植え、木の成長とともに母校が繁栄し、いつか桜花でおおわれることを期待し同窓会の愛称として命名したものです。

住所が変わっていませんか？

住所変更等は県立大学のホームページ「卒業生の方へ」から、または、スマホ等で下記の二次元コードを読み取り、「登録情報変更届」にアクセスを！

不審電話にご注意を

かざし会では、年会費入金を促す等の電話での依頼は行っておりません。もしそのような電話があっても、耳を傾けたり誘いに乗ったりしないよう、ご注意願います。

かざし会では、個人情報は規約に則って厳重に管理しており、会報の発送以外の目的で名簿の使用はしておりません。

令和６年度新潟県立大学同窓会かざし会決算報告

一般会計

【収入の部】 （単位：円）（△：減）

項目	予算額	決算額	比較	備考
前年度繰越金	738,470	738,470	0	
入会金(令和２年度分繰入)	6,671,227	6,671,227	0	
年会費	1,500,000	1,358,270	△141,730	686件
総会懇親会参加費	150,000	0	△150,000	
雑収入	500	716	216	利子等
合計	9,060,197	8,768,683	△291,514	

【支出の部】

項目	予算額	決算額	比較	備考
学科同窓会補助金	1,600,000	1,200,000	△400,000	40万×２、30万×１、10万×１
定期幹事会費	70,000	78,997	8,997	
総会費	450,000	196,583	△253,417	
会議費	150,000	126,794	△23,206	交通費・資料(コピー)代等
役員活動費	450,000	428,661	△21,339	
同級会補助金	50,000	0	△50,000	
学生自治会補助金(県立大)	100,000	100,000	0	
後援会費（県立大）	34,000	36,000	2,000	
会報発行費	2,200,000	2,138,683	△61,317	印刷代・送料等
入会金・年会費納入手続関連	400,000	411,927	11,927	利用料・振込用紙印刷代等
かざしルーム家賃	640,000	635,160	△4,840	
かざしルーム維持管理費	72,000	49,651	△22,349	光熱費等
ホームページ管理費	220,000	211,200	△8,800	
名簿メンテナンス費	110,000	110,000	0	
通信費	50,000	23,010	△26,990	電話料金・切手代等
消耗品費	10,000	86,256	76,256	
文書印刷費	80,000	50,006	△29,994	入学式・卒業式・入会金文書等
雑費	30,000	11,995	△18,005	振込手数料等
慶弔費	30,000	0	△30,000	
積立金	2,200,000	2,200,000	0	
予備費	114,197	16,500	△97,697	かざし室ホワイトボード設置一式
合計	9,060,197	8,111,423	△948,774	

次年度へ繰越	657,260	〈収入〉8,768,683－〈支出〉8,111,423

令和７年度新潟県立大学同窓会かざし会予算（案）

一般会計

【収入の部】 （単位：円）（△：減）

項目	予算額	前年度予算額	比較	備考
前年度繰越金	657,260	738,470	△81,210	
入会金(令和３年度分繰入)	7,419,650	6,671,227	748,423	
年会費	1,500,000	1,500,000	0	
総会懇親会参加費	150,000	150,000	0	
雑収入	500	500	0	利子等
合計	9,727,410	9,060,197	667,213	

【支出の部】

項目	予算額	前年度予算額	比較	備考
学部・学科同窓会補助金	1,800,000	1,600,000	20,0000	40万×３(さんしょ、まなざし、国経) 60万×１(UNP RICE)
定期幹事会費	100,000	70,000	30,000	
総会費	450,000	450,000	0	
会議費	150,000	150,000	0	交通費・資料(コピー)代等
役員活動費	450,000	450,000	0	
同級会補助金	50,000	50,000	0	５件
学生自治会補助金(県立大)	100,000	100,000	0	
後援会費（県立大）	36,000	34,000	2,000	
会報発行費	2,400,000	2,200,000	200,000	印刷代・送料・保護シール付ハガキ等
入会金・年会費納入手続関連	450,000	400,000	50,000	利用料・振込用紙印刷代等
かざしルーム家賃	640,000	640,000	0	
かざしルーム維持管理費	72,000	72,000	0	光熱費等
ホームページ管理費	220,000	220,000	0	
名簿メンテナンス費	110,000	110,000	0	
通信費	50,000	50,000	0	電話料金・切手代等
消耗品費	100,000	10,000	90,000	シール、封筒、文房具代等
文書印刷費	80,000	80,000	0	入学式・卒業式・入会金文書等
雑費	30,000	30,000	0	振込手数料等
慶弔費	30,000	30,000	0	
かざし奨励賞積立金	400,000	0	400,000	
積立金	1,600,000	2,200,000	△600,000	
予備費	409,410	114,197	295,213	
合計	9,727,410	9,060,197	667,213	

監査報告書

令和７年４月16日

令和６年度新潟県立大学同窓会かざし会会計決算書・通帳・帳簿・領収書の監査を行った結果、適正であることを確認しましたので報告いたします。

監事 川上陽子
櫻井明子

※個人情報保護のため印は省略していますが、押印済みの原本は事務所で保管しています。

同窓会費（２千円+手数料）はコンビニでも納められます！

皆さまの会費により、同窓会かざし会は運営されています。

会報「かざし」と、各科同窓会の会報誌は、卒業生で住所が登録されている方には、年会費納入を問わず、全員に送らせていただいています。

また学生の意欲的な取組や自治会の活動等への支援にも使わせていただいています。

郵便振り込みだけでなく、コンビニエンスストアでも納められるようになりました。お買い物のついでに、年会費の振り込みをお忘れなく。どうぞよろしくお願いいたします。

令和６年度（2024年度） かざし会事業報告

令和６年	４月６日	入学式出席　お祝い文書・かざし会説明文書配布
	５月22日	新潟県立大学後援会総会出席
	６月２日	定期幹事会(クロスパルにいがた)
	８月１日	会報「かざし」47号発行
	10月６日	総会(新潟県立大学)　会報47号にて各種議題提案承認 新潟県立大学吹奏楽サークルによる演奏会
令和７年	２月12日	かざし奨励賞審査委員会出席
	３月21日	卒業式・修了式出席
その他		執行部会　各事業準備　資料作成　会費・入会金納入状況確認　HP更新作業　等

令和７年度（2025年度） かざし会事業計画（案）

令和７年	４月７日	入学式出席　お祝い文書・かざし会説明文書配布
	４月24日	かざしルーム集合看板取り付け
	５月27日	新潟県立大学後援会出席
	６月１日	定期幹事会(クロスパルにいがた)
	８月１日	会報「かざし」48号　発行
	10月５日	総会(新潟県立大学)会報48号にて各種議題提案 村山前副学長ご講演
令和８年	２月	かざし奨励賞審査委員会
	３月24日	卒業式・修了式出席　お祝い文書・かざし会説明文書配布
その他		執行部会　各事業準備　資料作成　会費・入会金納入状況確認　HP更新作業

令和７年度　かざし会役員名簿（案）

役職	氏名	専攻
会長（兼かざし奨励賞）	白井智佳子	幼児教育
副会長（兼かざし奨励賞、HP、会計）	富山　歩	国際教育
副会長（兼かざし奨励賞、会報）	中山　知子	幼児教育
会計	住川　敦子	食物
会報	岩田すみ江	英文
会報	渡部　敦子	英文
名簿管理	岩下万紀子	英文
名簿管理	飯田　悦子	英文
企画	小熊　由美	幼児教育
企画	豊田亜希子	幼児教育
企画	小林　晶子	幼児教育
企画	小松　真由	健康栄養
入会金	大和田成矢	国際地域
入会金	中村　有李	国際地域
HP	齋藤　知菜	健康栄養
監事	川上　陽子	英文
監事	櫻井　明子	食物
各科同窓会		
さんしょの会会長	東海林眞子	健康栄養
まなざしの会会長	星野奈緒子	子ども
UNP RICE会長	竹石　三彦	国際地域
ラーレの会会長	澁谷　名望	国際経済
あかね会	平成29年度で活動休止	
国際教養	平成29年度で活動休止	

執行部より

○会費納入をお願いします。

現在は、入学時に「準会員」として入会して「入会金」を頂き、卒業後は「正会員」として「年会費」をお願いしています。ご協力お願いします。

○住所変更等は、必ずご連絡ください。

県立大学のホームページからもできます。

郵送やFAXの場合は、出身学科と卒業年のご記入もお願いします。

〒951－8052
新潟市中央区下大川前通四ノ町二二三〇－五七
エスカイア大川前一〇三
新潟県立大学同窓会かざし会宛
（TEL・FAX　〇二五－二二四－二八二二）

○「かざし会」役員を募集しています！

役員になっていただける方は、何時でもご連絡ください。

編集後記

今年も皆さまのご協力でかざし48号をお届けすることができました。お礼申し上げます。この会報で同窓生同士がつながり、同窓会が大学や学生を支援していることをお伝えしています。国際経済学部の同窓会もスタートしました。県立大学を卒業して社会に巣立った若い世代の皆さんも同窓生としてつながっていることを感じていただければ嬉しいです。（中山）

会員の皆様からいただくハガキの通信欄から勇気を頂いています。「学生時代を思い出すきっかけになっています」「後輩の活躍にワクワクし、元気をもらっています」等の声を聞き、今後もいろいろな年代の方々に楽しく読んでいただける紙面にしたいと思っています。（岩田）

会報担当の役得として、皆様よりいち早く、原稿を拝読することができます。拝読するたびに、素敵な方々からの刺激を受け、この学校に縁あって入学して良かったなぁと思います。皆様もぜひ、ゆっくりと会報を味わってくださいませ。（渡部）